

九州数学教育会会員 様
九州地区各教育委員長 様
九州地区各学校長 様
九州算数・数学担当者 様

主催 公益社団法人九州数学教育会
福岡県数学教育会
共催 北九州市教育委員会
後援 公益社団法人日本数学教育学会
福岡県教育委員会
福岡市教育委員会
公益財団法人日本教育公務員弘済会福岡支部
一般社団法人北九州市PTA協議会
北九州市教育賛助会



第80回 九州数学教育会総会並びに九州算数・数学教育研究(北九州)大会

開催ご案内 第2次案内(最終)

令和8年7月27日・28日・29日、北九州市において標記の大会(略称:九数教北九州大会)を開催いたします。この大会は九州全県の小・中・高等学校及び大学等の算数・数学教育に携わる教職員が一堂に会し、日頃の研究や実践を発表・協議する大会で、昭和22年に熊本市で第1回研究大会を開催して以来毎年九州各県を持ち回る形で開催され、多くの関係者の手により発展してまいりました。今日、予測困難な時代を迎え、自ら課題を見つけ、他者と協働して解決する力を育成していくために、「主体的、対話的で深い学び」が重視され各学校で実践が進められています。一方で、子どもたちの算数・数学への学習意欲や活用力については課題もあります。こうした中、「こども」を主語とする「こどもまんなか」の視点が重要視されており、開催地の北九州市でもその理念に基づく教育改革が進められています。その北九州市で算数・数学教育研究大会が開催できますことは、誠に意義深いことです。

そこで、本大会では、研究主題を「『こどもまんなか』の学びを実現する算数・数学教育」とし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る授業実践について、ご参加いただく先生方同士で有意義な協議をし、研究主題に沿う「子ども中心の学び」の実践につなげていただくことを願っております。

つきましては、本大会の趣旨や意義をご理解の上、関係の先生方の多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

九州数学教育会会長 山口 武志
北九州大会実行委員長 清水 紀宏

- 研究主題 「『こどもまんなか』の学びを実現する算数・数学教育」
- 日程

月日	行事			
7/27 (月)	(会場) JR九州ステーションホテル小倉			
	13:00	理事会前事務局長会議(50)		
	14:00	九州数学教育会理事会(50)		
	15:00	第1回算数・数学教育研修会(60)		
		講演	「数学的な考え方の捉え方」	
		講師	福岡教育大学 理事・副学長 清水 紀宏 氏	
	16:10	九州数学教育会総会・代表委員会(80)		
	17:50	レセプション		
7/28 (火)	(会場) J:COM北九州芸術劇場 小学校:大ホール 中学校:中劇場 高等学校:小劇場			
	10:00	受付(30)		
	10:30	開会行事(30) ※中学校、高等学校については、それぞれの会場でリモートで開催いたします。		
	11:00	諸連絡・準備(5)		
		小学校部会	中学校部会	高等学校部会
		(会場) J:COM北九州芸術劇場 大ホール	(会場) J:COM北九州芸術劇場 中劇場	(会場) J:COM北九州芸術劇場 小劇場
	11:05	部会開会行事(15)	11:05 部会開会行事(15)	11:05 部会開会行事(15)
	11:20	部会講演(60)	11:20 部会講演(90)	11:20 部会講演(60)
	12:20	移動・昼食	12:50 移動・昼食	12:20 移動・昼食
		(会場) 北九州市立思永中学校	(会場) 北九州市立思永中学校	(会場) 福岡県立小倉商業高等学校
	13:40	分科会	14:10 分科会	13:40 分科会
	13:40	第一発表(40)	14:10 第一発表(40)	13:40 第一発表(40)
14:30	第二発表(40)	15:00 第二発表(40)	14:30 第二発表(40)	
15:20	第三発表(40)	15:50 第三発表(40)	15:20 第三発表(40)	
16:10	第四発表(40)	16:30 終了	16:10 第四発表(40)	
16:50	終了		16:50 終了	
7/29 (水)	(会場) 福岡教育大学附属小倉小学校 (会場) 福岡教育大学附属小倉中学校 (会場) 福岡県立小倉商業高等学校			
	8:30	受付(30)	8:30 受付(30)	8:30 受付(30)
	9:00	公開授業①(45)	9:00 公開授業①(50)	9:00 公開授業(50)
	10:00	公開授業②(45)	10:00 公開授業②(50)	10:10 授業研究(50)
	11:00	授業研究(60)	11:00 授業研究(60)	11:00 終了
	12:00	終了	12:00 終了	

※高専・大学部会は、両日とも高等学校部会に合流してください。

◆ 小学校部会

部会研究主題 「学びをつなぐ子供が育つ算数科学習」

7月 28日 (火)	開会行事	会場： J:COM北九州芸術劇場 大ホール	11:05～11:20
	部会講演	演題：「『深い学び』の実装に向けた内容のまとめを見通した算数科の学習」 講師： 国立教育政策研究所教育課程調査官(併)文部科学省教科調査官 加国 希支男 氏	11:20～12:20
	分科会	会場： 北九州市立思永中学校	13:40～16:50

分科会	発表題目	発表者	所属	発表県	指導助言者
1 教育課程	ICT活用を通じた「協働的な学び」と「個別最適な学び」の一体的な充実を図る授業づくり ～第4学年「面積」におけるパフォーマンス課題の設定と生成AI「Gemini」を用いた学習活動を通して～	中村 仁	福岡市立松島小学校	福岡	米持 武彦 (別府大学明星小学校) 須佐 健吾 (福岡市立野芥小学校)
	主体的・対話的で深い学びを目指して ～効果的な対話により思考を深めるための算数科授業の構築を通して～	佐藤 凌太	佐伯市立明治小学校	大分	
	「数量関係を整理する図」でつなぐ算数の学び ～割合につながる学びをどう支えるか～	梅田 知明	あさぎり町立深田小学校	熊本	
	数学の見方・考え方を働かせて主体的に学ぶ児童の育成 ～ひなたの学びとつながりを意識した授業づくりを通して～	椎 貴裕	串間市立都井小学校	宮崎	
2 学習指導法と評価	学びに向かう力の育成を目指して ～算数科学習入門期の指導のあり方を中心に～	野口 麻美	時津町立時津北小学校	長崎	森 力 (琉球大学) 塩川 睦美 (飯塚市教育委員会)
	算数科における「数的な関係」を捉える指導と評価の在り方 ～第6学年「分数のわり算」における図と式の往還を促す評価の手立て～	三浦 由梨	飯塚市立上穂波小学校	福岡	
	主体的に学びをつなげていく子どもを育てる算数科における授業の創造	小野 一輝	大分市立坂ノ市小学校	大分	
	高次の資質・能力を育む単元デザイン ～実社会・実生活と算数科を繋げることを通して～	野村 伸	那覇市立真嘉比小学校	沖縄	
3 数と計算	AI時代に生きて働く「数感覚」を育て、働かせる算数科指導	上久保 友統	南九州市立穎娃小学校	鹿児島	木根 主税 (宮崎大学) 井関 浩久 (みやこ町立久保小学校)
	自ら学び続ける児童の育成 ～算数科「A数と計算」領域での「複線型の授業」と「自由進度学習」の実践を通して～	堂園 理沙	都城市立大王小学校	宮崎	
	学びをつなぐ子供が育つ算数科学習 ～子供自身で遂行する数学的活動を通して～	吉武 誠貴	苅田町立南原小学校	福岡	
	「学びに向かう力」と「思考力・判断力・表現力」を育む算数科授業の創造 ～課題に対する見通しをもって自力解決をし、対話を通して考えを深め合う授業の工夫～	佐藤 江里菜	竹田市立南部小学校	大分	
4 図形	構成要素に基づいて図形を弁別するには ～特製ジオボードと点図カードを使って～	荒木 悠汰	佐賀市立川上小学校	佐賀	大林 将吾 (佐賀大学) 二串 英一 (春日市立白水小学校)
	学ぶ楽しさを味わわせながら、考えを深め合う算数科の授業づくり ～第4学年 図形分野での実践を通して～	野中 孝太郎	益城町立津森小学校	熊本	
	主体的・協働的に学ぶ児童の姿を目指して ～学ぶ目的が生まれる授業づくり～	本多 航士	南島原市立西有家小学校	長崎	
	学びをつなぐ子供が育つ高学年図形「面積」学習 ～児童自ら求積公式の意味を追究する単元デザインを通して～	藤原 朋美	春日市立白水小学校	福岡	
5 測定・変化と関係	定義や性質を積極的に活用する算数科学習 ～連続量でなければ比例関係ではないのか～	緒方 慶彦	北九州市立泉台小学校	福岡	吉井 貴寿 (熊本大学) 永田 雄大 (北九州市教育委員会)
	学力差を数学的な表現でつなぎ、主体的に学び合う比例、反比例の学習 ～学習の必然性を生み出す単元構成と学び方を選択できる仕組みづくりを通して～	古野 春佳	小城市立砥川小学校	佐賀	
	予想からはじまる算数授業 ～数量関係を考察する児童を目指して～	大城 佑斗	うるま市立田場小学校	沖縄	
	基準量に着目する児童の育成 ～「1が見える」とつぶやく児童への道筋～	柘田 克也	熊本市立城北小学校	熊本	
6 データの活用	数学的な見方・考え方を働かせ、学びをつなぐ児童の育成 ～第3学年「表とグラフ」における「武器」の活用を通して～	丸目 祐貴	串間市立福島小学校	宮崎	山口 武志 (鹿児島大学) 宮内 香織 (長崎大学)
	主体的に問題解決に取り組み、批判的思考を育む算数科学習指導 ～既存のデータを活用した問題解決活動における統計的探究プロセスの相違に着目して～	村田 和也	北九州市立高須小学校	福岡	
	懐疑的なデータを生かした、批判的に考察する児童の育成	西尾 佳一郎	中種子町立増田小学校	鹿児島	
	「できた・分かった」の実感がある算数科の授業づくり ～学びの過程における数学的活動を通して～	木寺 富美子	対馬市立鶏鳴小学校	長崎	
7 問題解決	子どもが問題解決を楽しむ指導の工夫・改善 ～子どもの「問い」を軸とした単元のデザイン構成を通して～	城間 拓未	八重瀬町立新城小学校	沖縄	今井 一仁 (福岡教育大学) 荒木 教行 (朝倉市立蜷城小学校)
	自ら問題解決する子供の育成 ～見通す・比較する・考えを深める場面の工夫を通して～	宮内 美波 北 希	出水市立西出水小学校	鹿児島	
	中核的な概念に更新していく子供を育てる算数科学習指導 ～数学的コミュニケーション活動を通して～	松尾 雄真	朝倉市立金川小学校	福岡	
	数学的な見方・考え方を成長させながら、問題解決に取り組む児童の育成 ～児童同士がつながるカード学習法を用いた授業づくりを通して～	田原 元気	佐賀市立中川副小学校	佐賀	

7月 29日 (水)	公開授業 授業研究	会場： 福岡教育大学附属小倉小学校	9:00～12:00
------------------	--------------	-------------------	------------

学年	単元	授業者(所属)	指導助言者(所属)	学年	単元	授業者(所属)	指導助言者(所属)
1年	おおきさくらべ	甲斐 聡美 (北九州市立三郎丸小学校)	永田 雄大 (北九州市教育委員会)	4年	概数とその計算	九重 夕貴 (北九州市立長行小学校)	木根 主税 (宮崎大学)
	かたちづくり	本田 龍一朗 (北九州市立足原小学校)	吉井 貴寿 (熊本大学)		割合	大本 進 (築上町立築城小学校)	西島 大祐 (福岡県教育センター)
2年	三角形と四角形	原田 翔太 (北九州市立門司中央小学校)	大林 将吾 (佐賀大学)	5年	合同な図形	中野 裕太郎 (田川市立小中一貫校 猪俣金学園)	田中 公一朗 (田川市教育委員会)
	こんにちは さようなら (数学的な見方・考え方)	黒野 綾菜 (北九州市立井堀小学校)	米持 武彦 (別府大学 明星小学校)		平均とその利用	安河内 健二 (福岡教育大学附属小倉小学校)	宮内 香織 (長崎大学)
3年	2けたや3けたのかけ算	増田 大地 (北九州市立北方小学校)	山口 武志 (鹿児島大学)	6年	比を使って	小島 慶太 (福岡教育大学附属小倉小学校)	森 力 (琉球大学)
	あまりのあるわり算	原 穂香 (北九州市立田原小学校)	今井 一仁 (福岡教育大学)		円の面積	敷田 明希 (北九州市立竹末小学校)	村尾 隆 (北九州市教育委員会)

◆ 中学校部会

部会研究主題 「学びをひろげ、探究する力を育む数学科教育」

7月 28日 (火)	開会行事	会場：J:COM北九州芸術劇場 中劇場	11:05～11:20
	部会講演	演題：「次期教育課程での『データの活用』領域の指導について」 講師：愛知教育大学 准教授 青山 和裕 氏	11:20～12:50
	分科会	会場：北九州市立思永中学校	14:10～16:30

分科会	発表題目	発表者	所属	発表県	指導助言者
1 教育課程	分かる・できる喜びを実感できる授業づくり ～単元計画に位置付けたパフォーマンス評価の取組～	二子石 信太郎	益城町立益城中学校	熊本	添田 佳伸 (宮崎大学)
	個別最適な学びの実現に向けた少人数指導	姫野 凌 若本 美恵	延岡市立岡富中学校	宮崎	和田 信哉 (鹿児島大学)
	粘り強く数理を創造しようとする子どもをほぐむ数学科学習指導の研究 ～2つのルーブリックを用いた評価を通して～	森岡 耕一	大刀洗町立大刀洗中学校	福岡	
2 学習指導法・評価	『主体的に学習に取り組む態度』と『知識・技能』の整合性のとれた評価方法について ～ポートフォリオと単元テストを通して～	中村 祐介	鳥栖市立鳥栖西中学校	佐賀	西山 陽子 (長崎大学)
	数学科における論理的に思考する力を育成する指導の在り方について ～評価による思考の再構築を促す「思考モデル」の活用を通して～	成田 一平	みやこ町立豊津中学校	福岡	飯田 恵文 (みやこ町立伊良原中学校)
	生成AIを活用した情報活用型プロジェクト学習における指導と評価の実践	山口 孝志	長崎市立滑石中学校	長崎	
3 数と式	文字を用いることよさを実感する生徒を育む数学科学習指導法 ～第1学年「文字を用いた式」におけるICTを活用した考えの可視化と比較活動を通して～	古賀 和貴	筑後市立羽犬塚中学校	福岡	有元 康一 (福岡教育大学)
	「数と式」の領域における構想を重視した授業の工夫	西田 和也	平戸市立中野中学校	長崎	石河 誠 (福岡県教育庁)
	資質能力の育成を軸にした単元計画と深い学びの実現に向けた授業実践	上原 美紀	浦添市立神森中学校	沖縄	
4 図形	平面図形における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ～自由進度学習による学びの選択とパフォーマンス評価の実践を通して～	川崎 郁海	福岡市立和白中学校	福岡	吉村 昇 (熊本大学)
	『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業実践 ～図形領域における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して～	坂本 貴紀	八代市立第四中学校	熊本	堤 聡 (福岡市教育委員会)
	「形成的評価」と「学びの選択・決定」を生かした単元内自由進度学習による 学習者主体の学びのデザイン	川畑 翔平	鹿児島市立吉田南中学校	鹿児島	
5 関数	子供の学びやすさの実現 ～20分・20分・10分に分割した授業づくりを通して～	高澤 俊介	宮崎市立加納中学校	宮崎	米田 重和 (佐賀大学大学院)
	数学的な見方・考え方を働かせる授業づくり ～学びの振り返りの工夫と、関数領域における授業実践を通して～	井元 愛弓	薩摩川内市立川内南中学校	鹿児島	梶原 玲賢 (福岡市立早良中学校)
	学び続ける生徒の育成 ～「関数の領域」における人・空間・時間における環境づくりの工夫を通して～	清竹 亮太	福岡市立那珂中学校	福岡	
6 データの活用	批判的思考力を高めながら意思決定ができる生徒を育成する学習指導 ～複数から複数を選択する問題場面にシンキングツールを組み合わせる工夫を通して～	塩田 学志	糸島市立前原東中学校	福岡	松本 直己 (琉球大学)
	数学的な見方・考え方を働かせ、深い学びに向かう生徒の育成 ～統計的な学習における「ICT活用」の実践を通して～	比嘉 学	沖縄県立球陽中学校・高等学校	沖縄	山田 健司 (太宰府市立学院中学校)
	データの活用領域における数学的な表現を用いて論理的に説明する力の育成 ～複数のデータの比較を通して～	工藤 史也	大分市立原川中学校	大分	
7 数学的な見方・考え方	「数学的な見方・考え方」を活用することよさを実感できる指導 ～パフォーマンス課題を用いた取組を通して～	戸次 啓	豊後大野市小中一貫教育校 清川小中学校	大分	三宮 和恭 (別府大学)
	数学的な見方・考え方を働かせ、協働的に課題解決を目指す数学科学習指導法の研究 ～多様な考えを引き出す課題設定と学びあい認め合う交流活動を通して～	一ノ瀬 貴大	中間市立中間南中学校	福岡	永里 俊美 (中間市教育委員会)
	自らの考えを表現できる生徒の育成 ～「書く力」を育む授業作りを通して～	鈴木 正憲	佐賀市立芙蓉中学校	佐賀	

7月 29日 (水)	公開授業 授業研究	会場：福岡教育大学附属小倉中学校	9:00～12:00
------------------	--------------	------------------	------------

学年	単元	領域	授業者(所属)	指導助言者(所属)
1年	平面図形	図形	園田 照紘 (北九州市立則松中学校)	吉村 昇 (熊本大学) 上杉 忠 (北九州市教育委員会)
2年	箱ひげ図	データの活用	吉田 恭輔 (北九州市立田原中学校)	松本 直己 (琉球大学) 山木戸 聖 (北九州市教育委員会)
	連立方程式	数と式	川崎 裕二 (福岡教育大学附属小倉中学校)	和田 信哉 (鹿児島大学) 米田 重和 (佐賀大学)
3年	二次方程式	数と式	中川 広教 (福岡教育大学附属小倉中学校)	添田 佳伸 (宮崎大学) 森田 健伸 (北九州市教育委員会)
	相似	図形	吉武 倫一 (北九州市立熊西中学校)	西山 陽子 (長崎大学) 秦 弘美 (北九州市教育委員会)
	確率	データの活用	江寄 佑介 (北九州市立浅川中学校)	有元 康一 (福岡教育大学) 三宮 知恭 (別府大学)

◆ 高等学校部会

部会研究主題 「数学的に考える資質・能力を個別最適かつ協働的に育成する数学科教育」

7月 28日 (火)	開会行事	会場：J:COM北九州芸術劇場 小劇場	11:05~11:20
	部会講演	演題：「2040年の数学教育を共創する 一生徒に残すべき数学の学びとは―」 講師：東京学芸大学大学院教育学研究科 教授・学長補佐 西村 圭一 氏	11:20~12:20
	分科会	会場：福岡県立小倉商業高等学校	13:40~16:50

分科会	発表題目	発表者	所属	発表県	指導助言者
1 教育課程 指導研究	仮説検定の理解を深める授業実践 ～(名画判別実験を通して)～	竹内 誠一郎	大分県立大分鶴崎高等学校	大分	原 卓哉 (福岡教育大学)
	小・中学校段階の学び直しを目的とした 学校設定科目「ステップアップ数学」の実践報告	橋口 幸貴	熊本県立八代高等学校・ 八代中学校	熊本	
	年間指導計画の見直し ～工業教育との関わりを考慮して～	山田 明	宮崎県立佐土原高等学校	宮崎	
	専門高校における数学教育の在り方	矢野 大樹	宮崎県立小林秀峰学校	宮崎	
2 学習指導法 評価①	完全予習型×主体的で対話的な授業 ～授業進度を確保しつつ、より深い学びを～	奥山 大輔	九州産業大学附属 九州高等学校	福岡	籾原 幸二 (熊本大学) 原 昌紀 (長崎大学)
	「Lの学び」と「Iの学び」 ～東明館高等学校の取り組み～	安部 辰彦	東明館高等学校	佐賀	
	ペアワークを通じた「数学的な見方・考え方」の育成による 問題理解の困難さの解消と学習意欲の向上に関する実践研究	一ノ瀬 隆行	佐賀県立鹿島高等学校	佐賀	
	百問繚乱(自動採点システム)を利用した定期考査問題への活用 ～主体的取り組みを評価する授業や問題検討について～	吉本 竜也	熊本県立小川工業高等学校	熊本	
3 学習指導法 評価②	演習型授業における課題と工夫	寺田 哲哉	鹿児島県立楠隼高等学校	鹿児島	愛甲 正 (鹿児島大学) 向江 頼士 (宮崎大学)
	主体的・対話的で深い学びを実現する数学的活動の工夫 ～ICT活用と協働的学習を組み合わせた課題設計を通して～	上原 千夏	沖縄県立コザ高等学校	沖縄	
	自ら考えることができる生徒を育てる数学科指導 ～手書きプリントの活用を通して～	林 瑞樹	福岡県立嘉穂高等学校	福岡	
	生徒の学びへの関心を高め、学びを深める授業改善 ～教科横断授業の実践を通して～	田川 誠 七條 慶子	長崎県立長崎南高等学校	長崎	
4 学習指導法 評価③ 教科指導	コンピュータを使用した授業支援(考査問題作成も含む)	村田 智徳	熊本県立甲佐高等学校	熊本	藤本 光史 (福岡教育大学)
	微分積分の指導の工夫と考察 ～筑紫女学園高等学校での授業実践を通して～	河野 知明	筑紫女学園高等学校	福岡	
	主体性を育む家庭学習の取り組み	西藤 英和	長崎県立諫早高等学校	長崎	
	MetaMoJiが変える授業と校務のカタチ ～数学科の実践事例と学校全体のペーパーレス化への挑戦～	姫野 淳一	大分県立日出総合高等学校	大分	
5 数学Ⅰ・A	記述式問題を通じて育てる数学的表現力 ～ICTとチョークの相乗効果を探る授業実践～	翁長 伶	沖縄県立球陽高等学校	沖縄	岩田 耕司 (福岡教育大学) 大野 貴雄 (大分大学)
	データの分析における情報Ⅰとの教科横断型授業について ～データサイエンス入門～	中浦 将来	長崎県立佐世保西高等学校	長崎	
	主体的・対話的で深い学びを目指した教科指導の工夫 ～授業の振り返りにおける協働学習および教科横断的な学習を通して～	比嘉 聖士	沖縄県立北部農林高等学校	沖縄	
	「実感」から「論理」へとつなげる図形の性質の学習指導法の研究 ～重心コマの作製と折り紙による作図を通して～	田原 雄矢	福岡県立朝倉光陽高等学校	福岡	
6 大学入試 自由研究	「商業×数学」教科横断的な学びを通して ～意欲向上・計算力向上を目指した取り組み～	宮田 郁美	宮崎県立延岡商業高等学校	宮崎	川中子 正 (佐賀大学) 加藤 本子 (琉球大学)
	チョウザメの体重推定 ～統計学のススメ～	幸田 成樹	鹿児島県立 鹿児島水産高等学校	鹿児島	
	実2次体上の合同数について、再び ～TOMASZ JĘDRZEJAK氏の論文から～	多田 政友	大分県立三重総合高等学校	大分	
	複素数利用による斜軸回転体の体積解法とパップス・ギュルダンの 定理による検算	精松 祐介	鹿児島工業高等専門学校	鹿児島	

7月 29日 (水)	公開授業 授業研究	会場：福岡県立小倉商業高等学校	9:00~11:00
------------------	--------------	-----------------	------------

	題材名	授業者(所属)	指導助言者(所属)
授業①	数学Ⅰ「三角比」	中条 真也・下川 友之 (福岡県立八幡工業高等学校)	岩田 耕司 (福岡教育大学)
授業②	数学Ⅲ「微分法の応用」	百瀬 博 (福岡県立戸畑高等学校)	籾原 幸二 (熊本大学) 向江 頼士 (宮崎大学)
授業③	数学A「場合の数」	隈崎 正史 (福岡県立ひびき高等学校)	原 卓哉 (福岡教育大学)
授業④	数学C「空間のベクトル」	清水 裕子 (福岡県立京都高等学校)	藤本 光史 (福岡教育大学) 愛甲 正 (鹿児島大学)
授業⑤	理数数学Ⅱ「積分法とその応用」	藤本 宏樹 (福岡県立八幡高等学校)	川中子 正 (佐賀大学) 大野 貴雄 (大分大学)
授業⑥	数学特講「入試問題研究」	繁木 伸孝 (久留米大学附設高等学校)	加藤 本子 (琉球大学) 原 昌紀 (長崎大学)

部 会 講 演

小 学 校 部 会

演題 「『深い学び』の実装に向けた内容のまとめを見通した算数科の学習」

講師 加 固 希 支 男 氏 (国立教育政策研究所教育課程調査官(併)文部科学省教科調査官)

【プロフィール】

1978年生まれ。立教大学経済学部を卒業後、一般企業勤務を経て2008年に小学校教諭となり、東京学芸大学附属小金井小学校教諭等を歴任。2012年読売教育賞最優秀賞、2022年日本数学教育学会学会賞受賞。2025年6月より国立教育政策研究センター研究開発部教育課程調査官(併)学力調査官として、算数科教育の研究や教育課程の充実に携わっている。

【主な著書】

「『個別最適な学び』を実現する算数授業の作り方」(明治図書)
「小学校算数『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」(明治図書)
「数学的な見方・考え方を働かせる算数科の『探究的な学習』」(明治図書)



中 学 校 部 会

演題 「次期教育課程での『データの活用』領域の指導について」

講師 青 山 和 裕 氏 (愛知教育大学 数学教育講座 准教授)

【プロフィール】

2005 筑波大学大学院人間総合科学研究科 研究員
2007 鳴門教育大学教員教育国際協力センター 講師
2008 愛知教育大学数学教育講座 助教
2010 同 講師
2011 同 准教授

【主な著書】

「親子で学ぶ 統計学はじめて図鑑」(分担執筆)(日本図書センター)
「楽しく学ぶ 中学数学の統計『データの活用』」(日本図書センター)
「イラスト図解ですっきりわかる算数」(分担執筆)(東洋館出版社)



高 等 学 校 部 会

演題 「2040年の数学教育を共創する ―生徒に残すべき数学の学びとは―」

講師 西 村 圭 一 氏 (東京学芸大学大学院教育学研究科 教授・学長補佐)

【プロフィール】

東京都立高等学校、東京学芸大学附属大泉中学校、同国際中等教育学校教諭、国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部総括研究官、東京学芸大学教育学部数学科教育学分野教授を経て、現在、東京学芸大学大学院教育学研究科教授、博士(教育学)、日本学術会議連携会員、日本数学教育学会業務執行理事・実践研究推進部長、日本科学教育学会理事・副会長、日本教科教育学会全国理事、日本教材学会理事、新算数教育研究会全国大会推進部長、国立教育政策研究所客員研究員、三菱みらい育成財団アドバイザーボード委員

【主な著書】

「高等学校数学科 探究ベースの数学授業づくり―生徒に残る学びの実現を目指して―」(東洋館出版社)
「算数教材研究 四則計算」(東洋館出版社)
「中学校・高等学校数学科 授業力を育む教育実習」(東京学芸大学出版会)
「真の問題解決能力を育てる数学授業-資質・能力の育成を目指して」(明治図書)



5 大会申込み等

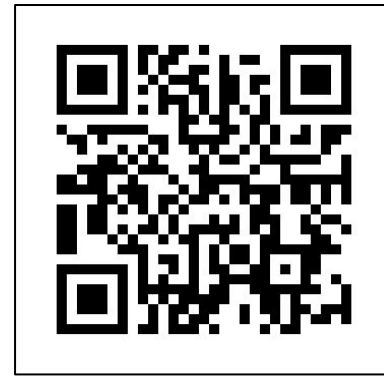
(1) 参加申込みについて

- 第80回九州数学教育会総会並びに九州算数・数学教育研究(北九州)大会申込特設サイト(Peatix) よりお申し込みください。

【お申込みページ】(右のQRコードからもお申込みができます。)

URL: <https://kyusukyo-kitakyushu.peatix.com/>

【申込受付期限】 令和8年7月29日(水)



【申込み用QRコード】

※ [チケット申込み方法のヘルプ](#) (←クリックしてください。)

- 参加費については、申込みサイトから次のいずれかの決済方法でお支払いください。
・クレジットカード決済 ・コンビニ決済 (別途手数料330円がかかります。)
※ コンビニ決済の場合、参加費納入期限が表示されますので、納入期限内にお支払いください。(通常申し込み後3日以内)
- 1日目のみの参加、2日目からの参加も可能です。ただし、参加費は変わりません。
- 団体での申込みはできません。参加される各個人でお申し込みください。
- お電話でのお申込みはトラブルの原因になりますので、受け付けておりません。
- 領収については、Peatixアカウント内でダウンロード可能な「領収データ(受領書)」、また、大会当日に配布します大会研究集録に大会実行委員会印を押印した領収書を挟んでおりますので、必要に応じて、いずれかの領収書をご使用ください。
※ [Peatixアカウント内での「領収データ」\(受領書\)へのアクセス方](#) (←クリックしてください。)
- 大会当日は、事前申込みがお済みでない方の当日受付も準備いたしますが、手続きにお時間を要する場合がございます。できる限り上記の要領で、事前にお申し込みください。
- 当日受付の詳細については、後述の【当日受付の方法のご案内】をご確認ください。
申込完了後に届くメールに、「Peatix」アプリダウンロードの案内がでます。このアプリをスマートフォン/タブレットにダウンロードしていただくと、当日の受付がスムーズにできます。

(2) 北九州大会事務局より諸連絡

- 宿泊先の斡旋は行いません。また、お弁当の注文受付も行いません。
リバーウォーク北九州内や近隣の商店街に飲食店が多数ありますので、ご利用ください。
また、28日(火)の各分科会会場に昼食を摂ることのできるスペースをご用意しています。
※ J:COM北九州芸術劇場内では、飲食はできません。
- 運営側の負担軽減に伴い、大会の実施にあたり皆様にご不便をおかけいたしますこととお詫び申し上げます。スムーズな運営にご協力いただくと幸いです。
- 第2次案内以降の大会についての重要なお知らせは、九数教HPにて通知いたします。
[【九数教HP\(公益社団法人九州数学教育会\)】 http://wp.kyusukyo.org/](http://wp.kyusukyo.org/)
- 悪天候等でやむを得ず大会を中止にする場合には、大会3日前までに九数教HPにて通知いたします。
中止の場合は研究集録を送付することで、大会参加に替えさせていただきますことをご了承ください。

(3) 参加について

- 初めに参加される会場にて必ず受付を済ませてください。(後述【当日の受付方法のご案内】参照)
その後に参加される別会場での受付の必要はありません。
- 受付の際、参加証をお渡しいたします。各会場に入場される際には、各受付で参加証をご提示ください。
また、会場内では、必ず参加証を首から下げてご参加ください。
- 各分科会会場は、土足では入れません。各会場受付で配布される靴カバーを着けるか、上履きを持参してください。
(外履きは、各自で持ち歩いてください。)
- 体調のすぐれない方は、無理のないようお願いいたします。体調管理や水分の補給など、熱中症予防についてはご自身で
ご留意ください。
- 各会場とも全面禁煙です。また、会場以外の教室などには立ち入りをご遠慮願います。
- 本研究大会にて配布される各著作物(論文、指導案、教材、資料等)についての一切の権利は、九州数学教育会及び講師、研究発表者、授業者に帰属します。第三者等に対して、複製・転載・改変・編集・頒布・販売・譲渡・翻訳・使用許諾・インターネット上での公開はできません。
- 別途許可をする場合を除き、写真やビデオ撮影、音声録音等を行うことはできません。授業終了後に板書のみを撮影することは可能です。

第80回九数教北九州大会実行委員会本部事務局
北九州市立花尾小学校 校長 長野 智英
〒805-0067 北九州市八幡東区祇園1-6-1
TEL(093)661-6236 / FAX(093)661-6237

【当日の受付方法のご案内】

当日は、Peatixアプリでの「タップ」【推奨】、または、「QRコード」(スマートフォン/タブレット、紙等)での受付をいたします。
受付にて、Peatix アプリ(無料)での「タップ画面」か、あるいは、スマートフォン/タブレット等のWebブラウザで「QRコード」、または、紙に印刷した「QRコード」をご提示いただきますようお願いいたします。

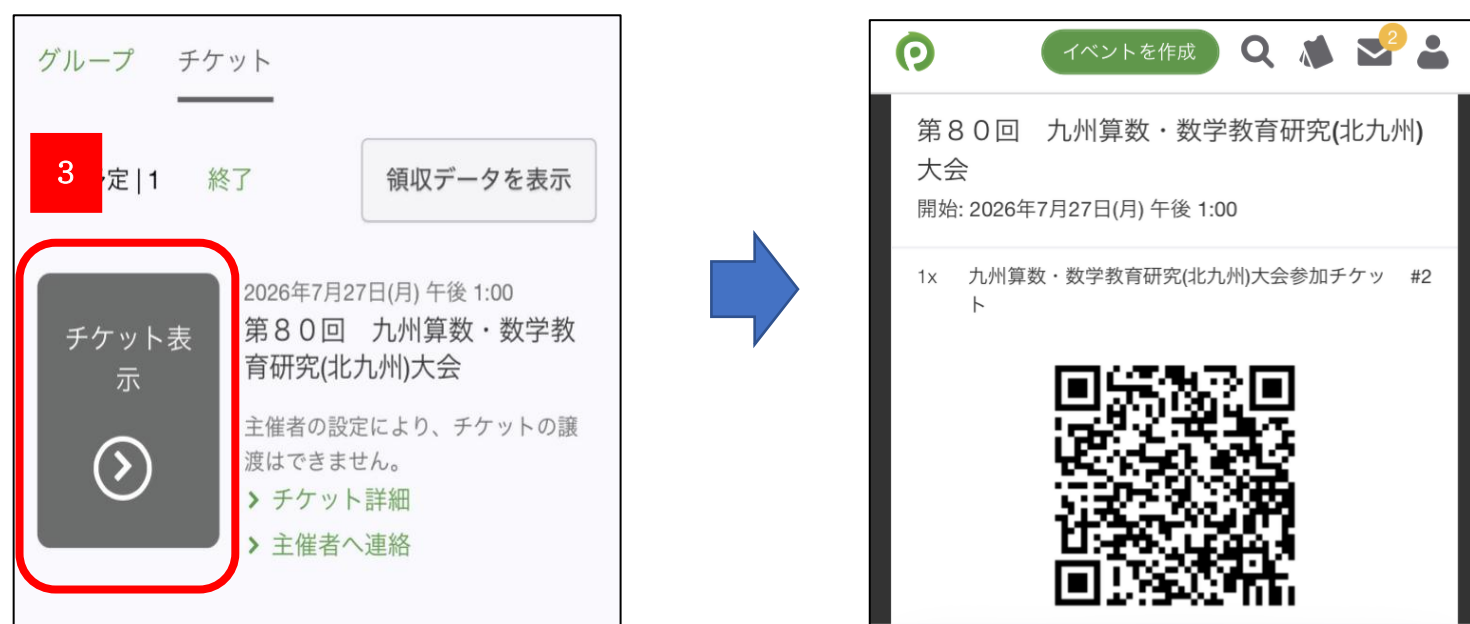
◆ Peatixアプリで「タップ受付」画面を表示する方法【推奨】

- 1 App Store、または、Google Play から「Peatix」アプリをダウンロードしてください。
※ 申込受付メール内の「iOSアプリでチケットを見る」、「Androidでチケットを見る」のボタンをタップしてもダウンロードできます。お使いの機種にあったボタンをタップしてください。
- 2 インストールしたアプリを起動すると、トップ画面が表示されます。下方の「チケット」タブをタップしてください。
- 3 「ログイン」をタップしてください。(1度ログインすると次回からはログイン画面は出ません。)
- 4 ログイン画面が表示されます。必ず、チケット申し込み時に利用したアカウントでログインしてください。
- 5 下部の「チケット」タブをクリックすると、申し込んだイベントが表示されるので、第81回九州算数・数学教育研究(北九州)大会の「チケット表示」をタップしてください。
- 6 表示された画面を受付担当者にお見せください。受付担当者が、タップ受付、受付係員確認ボタンをタップして、受付完了です。
※ 受付が完了すると、チケット画面に「チェックイン済み」と表示され、「タップで受付」ボタンが無効になります。
受付担当者以外の方がタップしないようご注意ください。



◆ スマートフォン/タブレットのブラウザでQRコードを表示する方法

- 1 [チケット画面\(https://peatix.com/dashboard\)](https://peatix.com/dashboard) にアクセスしてください。
- 2 申し込み時に利用したアカウントでログインしてください。(既にログインしている場合は、3に進んでください。)
- 3 画面右上の「チケット」をタップしてください。その後、「第81回九州算数・数学教育研究(北九州)大会」の「チケット表示」をタップして、QRコードを表示し、受付担当者にご提示ください。
担当者がパソコン等でQRコードを読み取り、受付完了です。



◆ スマートフォンやタブレットをお持ちでない場合 (QRコードを紙に印刷)

- 1 パソコン等で [チケット画面\(https://peatix.com/dashboard\)](https://peatix.com/dashboard) にアクセスしてください。
- 2 申し込み時に利用したアカウントでログインしてください。(既にログインしている場合は、3に進んでください。)
- 3 画面右上の「チケット」をタップしてください。その後、「第81回九州算数・数学教育研究(北九州)大会」の「チケット表示」をタップしてQRコードを表示し、紙に印刷して、お持ちください。